

第 50 回コンピュータ会計能力検定試験 問題用紙

2 級

(令和 7 年 7 月 26 日施行)

問題用紙は回収します。持ち帰り厳禁です。

解答用紙は、問題用紙にはさみ込んでありますので、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。

注 意

- ・試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- ・この試験問題は、全部で 15 ページです。
- ・この試験の制限時間は 1 時間 30 分です。
- ・解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
- ・解答用紙の所定の位置に、試験会場、氏名、受験番号を必ず記入してください。
記入もれがある場合には採点の対象とならない場合があります。
- ・印刷の汚れや乱丁、パソコン機器の不具合等で必要のある場合は手をあげて試験担当者に合図をしてください。
- ・会計データがデスクトップにあることを確認してください。
- ・第 2 問は、試験開始後、「南国電子販売株式会社」の会計データを、第 3 問は、
同じく「海星産業株式会社」の会計データを、パソコンにリストア（復元）し
てから処理をおこなってください。
- ・会計データにはパスワードがかかっています（パスワードは第 2 問参照）。
- ・会計ソフト以外のソフトウェア（表計算等）や電卓などの使用も認めます。
- ・消費税については、入力済みの取引データや、問題文の税額または税率にした
がうこと。

主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

コンピュータ会計の知識

第1問 次の各文章において【 】に入るべき数字・字句あるいは【 】内の字句のうち正しいものを、または【 】内の「ア～ウ」の中から正しいものを1つ選び、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。(10点)

- (1) 市販会計ソフトの導入処理では、業種に応じた勘定科目を設定することができる。製造業において製造原価報告書(明細書)を作成する場合には、導入処理において製造業特有の勘定科目を使用する設定を行わなければならない。市販会計ソフトを利用している製造業において、損益計算書の売上原価項目のうち、期末決算(決算は年に1度とする)の仕訳で用いられない項目は【 当期製品製造原価・期首製品棚卸高・期末製品棚卸高 】である。
- (2) 製造業N社の製造原価報告書(明細書)に表示された当期総製造費用は1,000,000円、期首仕掛品原価は300,000円、期末仕掛品原価は500,000円であった。N社の期首製品在庫は無く、当期完成した製品のうち当期に販売された製品の売上高は3,000,000円で当期に販売されなかった期末製品在庫は200,000円であった。またN社の棚卸資産は原材料、仕掛品、製品以外に無い。期末に損益計算書を出力すると、売上原価は【 】円と表示される。
- (3) 卸売業H社は、市販会計ソフトの導入設定段階で、すべての勘定科目に部門として「池袋本社」、「川口営業部」、「大宮営業部」の三つを設定した。H社は商品の仕入を池袋本社で一括しておこない、営業部の商品在庫量に応じて池袋本社から各営業部に商品を適宜発送している。H社は部門別損益計算書を出力しているが、各営業部の売上原価の算定は池袋本社からの商品発送原価にもとづいており、決算時に期中の発送原価総額を各営業部の仕入高勘定に振り替えている。当期の発送原価総額は川口営業部に5,000,000円、大宮営業部に8,000,000円であった。決算時の発送原価の振替仕訳のうち5,000,000円を計上する際、貸方側に入力すべき勘定は【 商品・仕入高・期首商品棚卸高・期末商品棚卸高・池袋本社・川口営業部・大宮営業部 】である。
- (4) 上記(3)と同じ条件のもとで、決算時に大宮営業部に発送原価を振り替える際、借方側に入力すべき勘定科目は【 】である。
- (5) 会計ソフトの予算管理機能の特徴として正しいことは、
- 【 ア. 会計ソフトの予算管理機能には部門別の予算を設定することができないので、実績の部門別損益計算書を出力できる場合でも、部門別の予算・実績差異報告書(予算実績対比表)を出力することができない、ということである。
 - イ. 会計ソフトに一度入力した予算数値(各勘定科目の予算金額)は、同一会計年度内に会計ソフト上で変更できる、ということである。
 - ウ. 会計ソフトに予算額を月別に入力する際、各勘定科目の毎月の予算額は同額でなければならない、ということである。 】

会計処理

第2問 南国電子販売株式会社の会計データを入力し、年次決算をおこなって、解答用紙に示した貸借対照表と損益計算書の各科目の金額を求めなさい。(50点)

南国電子販売株式会社は、2025年3月から会計ソフトによる処理を導入している。期首(2024年4月1日)から導入する前月(2025年2月)までの会計データ、および3月25日より前までの3月分の会計データは、入力処理済みである。

3月25日以降の会計データと決算資料(9ページから11ページ)にもとづいて、必要な会計処理をおこないなさい。なお、決算資料の中のXX円となっている金額は、各自が計算・判断すること。

<付記事項>

- (1) 会計期間は毎年4月1日から翌年3月31日までである。
- (2) 事業内容は、電子機器部品の卸売業である。
- (3) 取引先および取引条件等は次の表のとおりである。

得意先	いまり工業(株)	させぼ工業(株)	やながわ工業(株)
売上計上日	検収書受領日	検収書受領日	検収書受領日
回収条件	月末締め・翌月末払い	月末締め・翌々月10日払い	月末締め・翌々月20日払い
回収方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

仕入先	カラツ電子(株)	コクラ電子(株)	シマバラ電子(株)
仕入計上日	納入検収日	納入検収日	納入検収日
支払条件	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い
支払方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

- (4) 入力にあたっては、入力済みのデータも参照すること。
- (5) 勘定科目および補助科目の新規設定はおこなわないこと。
- (6) 消費税処理の設定は税抜経理方式・内税入力であるが、「売上高」と「仕入高」は外税入力の設定としている。

この問題は、「南国電子販売株式会社」の会計データをパソコンにリストアしてから処理をおこなってください。

会計データにはパスワードがかかっています。

パスワード：d2m8

- d (小文字/半角)
- 2 (半角)
- m (小文字/半角)
- 8 (半角)

3月26日(水)

① 振込依頼書作成

総合振込依頼書										
天神銀行 殿					取組指定日		2025年3月31日			
ご依頼人名		フリガナ		ナンゴクデンシハンバイカブシキガイシャ				枚中/枚目		1 / 1
		ご連絡先電話番号		33 - 123 - 4567						
送信番号	銀行	支店	預金種目	口座番号	振込先	金額	電信指定	手数料	照査印発行印	
	有田	中町	普通	0654321	佐賀産業(株)	66,000		440		
	諫早	本町	普通	0321321	長崎興業(株)	110,000		440		
	糸島	本店	普通	0456789	福岡不動産(株)	165,000		440		
	鳥栖	本店	普通	0123456	ヤメ運送(株)	338,800		440		
			普通							
					小計	件	679,800	小計	1,760	
					合計		679,800	合計	1,760	

(注) 佐賀産業(株)は駐車場使用料, 長崎興業(株)は倉庫家賃, 福岡不動産(株)は事務所家賃, ヤメ運送(株)は運送費の支払先である。

② 得意先から届いた振込通知書

2025年3月26日	
振込通知書	
南国電子販売株式会社 様	
いまり工業株式会社	
締切日	2025年2月28日
購入金額合計	〇件 3,960,000円
(2月1日~2月28日)	
(振込日: 2025年3月31日)	

③ 本日の商品売買状況

売 上 伝 票		納品書 (控)				
売上日 2025年3月26日 東京都豊島区北大塚9-99-1						
させば工業株式会社 御中	南国電子販売株式会社 TEL 33-123-4567 FAX 33-123-4577					
商品コード/商品名	数量	単位	単 価	金 額	備 考	
G-30	1,100			2,750,000円		
O-40	1,100			3,190,000円		
	税抜額	5,940,000円	消費税額	594,000円	合 計	6,534,000円

④ 借入金の明細

お借入金ご返済予定表					天神銀行		
ご 融 資 日	最 終 期 日	ご返済回数	ご 融 資 額	うち増額返済分ご融資額			
年月**日	**年**月**日	** 回	*****円	円			
金 利 変 更 日	変 更 後 の 利 率	変更後の毎月のご返済	変更後の増額返済併用月ご返済額 (うち増額返済額)				
年 月 日	年 %	円	円				
ご返済期日 (年月日)	回数 回	ご 返 済 内 訳			ご返済後融資残高 (うち増額分ご融資残高) 円	未払利息発生額 円	未払利息残高 円
		ご返済元金 円	お支払利息 円	未 払 利 息 円			
2025. 2. 26	22	170,000	38,420		14,260,000		
2025. 3. 26	23	170,000	37,163		14,090,000		
2025. 4. 28	24	170,000	35,902		13,920,000		

3月29日(土), 30日(日)

休業日

3月31日(月)

① 小口現金の補充

小口現金補充のため、普通預金 153,560 円を引き出した。

小口現金出納帳集計表	
2025年3月21日～31日	
科 目	税 込 金 額
福 利 厚 生 費	0 円
広 告 宣 伝 費	14,410 円
交 際 費	17,820 円
旅 費 交 通 費	13,640 円
通 信 費	13,420 円
消 耗 品 費	13,200 円
事 務 用 品 費	13,860 円
修 繕 費	14,410 円
車 両 費	41,800 円
租 税 公 課	0 円
雑 費	11,000 円
合 計	153,560 円

2025年3月31日
出納係 印

② 精算

3月中に従業員に対して交通費の概算を手渡していた。本日すべての精算をおこない、不足分 360 円を現金で渡した。なお、精算した金額には、交通費(税込)以外に事務用品費 12,760 円(税込)と収入印紙代 6,300 円が含まれており、領収証を受け取った。

③ 普通預金通帳の記帳結果

普通預金					
	年-月-日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高
1	2025. 3. 25	繰越残高			5,913,077
2	2025. 3. 25	引出	2,500,000		3,413,077
3	2025. 3. 25	電気	37,620		3,375,457
4	2025. 3. 25	電話	35,860		3,339,597
5	2025. 3. 26	水道	14,960		3,324,637
6	2025. 3. 26	電話	53,460		3,271,177
7	2025. 3. 26	振替	207,163		3,064,014
8	2025. 3. 27	水道	14,520		3,049,494
9	2025. 3. 27	電話	47,520		3,001,974
10	2025. 3. 28	振替	66,000		2,935,974
11	2025. 3. 28	振替	60,500		2,875,474
12	2025. 3. 28	振替	75,000		2,800,474
13	2025. 3. 28	引出	740,000		2,060,474
14	2025. 3. 31	引出	153,560		1,906,914
15	2025. 3. 31	振込		3,960,000	5,866,914
16	2025. 3. 31	振替	66,000		5,800,914
17	2025. 3. 31	振替	110,000		5,690,914
18	2025. 3. 31	振替	165,000		5,525,914
19	2025. 3. 31	振替	338,800		5,187,114
20	2025. 3. 31	振込手数料	1,760		5,185,354

(注) 2025. 3. 26 振替 207,163 円は天神銀行への返済。

2025. 3. 28 振替 66,000 円は大村リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2025. 3. 28 振替 60,500 円は鞍手リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2025. 3. 28 振替 75,000 円はクルメ損害保険への支払, 「保険料」勘定を使用する。

〔決算資料〕

(1) 残 高

① 現 金

手許現金残高	XXX, XXX 円
--------	------------

② 預 金

<u>残 高 証 明 書</u>	
南国電子販売株式会社 様	
2025年3月31日	
預金種類	残高
普通預金	5,185,354 円
定期預金	7,900,000 円
定期積金	8,600,000 円
2025年4月4日	
天神銀行 豊島支店	

③ 売掛金

得意先への確認済み残高

2025年3月31日

いまり工業株式会社	1,650,000 円
させぼ工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
やながわ工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

④ 買掛金

仕入先への確認済み残高

2025年3月31日

カラツ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
コクラ電子株式会社	13,625,000 円
シマバラ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

⑤ 預り金

源泉所得税	XXX,XXX 円
住民税	80,700 円
社会保険料	9,000 円

⑥ 長期借入金

5 ページ借入金返済予定表参照

(2) 棚卸処理

商品棚卸表

2025年3月31日

種類	仕入単価	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	実地棚卸金額
N-10	1,400 円	200	200	XXX,XXX 円
A-20	1,500 円	200	200	300,000 円
G-30	1,800 円	200	200	360,000 円
O-40	1,900 円	400	390	XXX,XXX 円
K-50	2,200 円	200	200	440,000 円
合計				X,XXX,XXX 円

上記の棚卸表のとおり、実地棚卸の結果、O-40 が帳簿棚卸に対して 10 個不足していることが判明した。この不足分については、棚卸減耗として売上原価に含めることとする。

(3) 減価償却

次の固定資産台帳および減価償却明細表のデータにもとづいて、当期の減価償却費を計上する。

固定資産台帳・減価償却明細表

2024年4月1日～2025年3月31日

(金額単位：円)

種類	取得年月日	取得価額	償却方法	耐用年数	償却率	当期償却額
(車両運搬具)						
乗用車	2023年1月	3,000,000	定率法	6	0.333	610,860
乗用車	2024年2月	3,400,000	定率法	6	0.333	1,069,362
計		6,400,000				X,XXX,XXX
(備品)						
エアコン	2022年2月	340,000	定率法	6	0.333	47,575
応接セット	2022年2月	310,000	定率法	8	0.250	41,777
計		650,000				XX,XXX
合計		7,050,000				X,XXX,XXX

(4) その他

① 運送費

運送費は 10 日締めで月末払いとしており、締め日以降(3月 11 日から 31 日まで)に発生した運送費について、「未払費用」勘定を利用して費用計上する。

3月 11 日～31 日分の運送料計算書の合計額	673,200 円 (税込金額)
--------------------------	------------------

② 地代家賃

「地代家賃」勘定の補助元帳には、1 か月分の前払い分が含まれているため、それぞれ 13 か月分の家賃が計上されている。前払い分を「前払費用」勘定に振替処理する。

事 務 所	165,000 円 (税込金額)
倉 庫	110,000 円 (税込金額)
駐 車 場	66,000 円 (税込金額)

③ 消費税等の計上

当期の確定消費税の金額は次のとおりである。

当期確定消費税額等	5,788,200 円
-----------	-------------

前年 11 月に支払った消費税の中間納付額との差額を「未払消費税等」勘定に計上する。消費税の中間納付額は、11 月の「仮払消費税等」勘定の借方に計上されている。

なお、「仮受消費税等」勘定と「仮払消費税等」勘定との振り替えにより生じる端数差額は、雑収入とする。この雑収入は、消費税課税対象外として処理する。

④ 法人税等の計上

当期の法人税，法人住民税，法人事業税，地方法人特別税が次の金額に確定した。

	確定法人税額等
法 人 税	1,079,000 円
法 人 都 民 税	370,400 円
法 人 事 業 税 ・ 特 別 税	348,600 円
合 計	X,XXX,XXX 円

前年 11 月に支払った法人税，法人住民税，法人事業税等の中間納付額との差額を、「未払法人税等」勘定に計上する。

なお，中間申告による納付額合計は，11 月の「仮払法人税等」勘定の借方に計上されている。

会計情報の活用

第3問 次の各文章において、【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(10)の解答欄に記入しなさい。海星産業株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能を実操作してえられた数値にもとづき解答すること。ただし、そのうち会計ソフトの機能から解答を直接えられない問題については、別途計算したり、判断したりして解答すること。なお、金額以外の数字による解答については、求める表示形式上の小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入すること。(20点)

<経営分析>

- (1) 海星産業株式会社の決算を含む第4期末における売上高営業利益率は1月末残高によるものに比べて好転【ア. している。 イ. していない。】
- (2) 海星産業株式会社の第4期12月末残高における流動比率は【 】%である。
- (3) 海星産業株式会社の決算を含む第4期末における総資本回転率は【 】回である。
- (4) 海星産業株式会社の下半期(10月～3月)売上高合計額は、上半期(4月～9月)の合計額に比べて【 】%増加した。

<損益分岐点分析>

- (5) 海星産業株式会社は、同社の損益計算書に計上される営業費用の固定分解にあたって、売上原価項目と支払手数料については変動費比率100%、荷造運賃については固定費比率60%、旅費交通費については変動費比率20%、その他の営業費用については固定費比率100%としている。また、営業外収益・営業外費用・特別損益を構成する各項目は分析に用いない。第4期の上半期(4～9月)の月別の損益分岐点を分析したところ、損益分岐点比率からみて業績の最も良い月は【 】月である。
- (6) 海星産業株式会社第4期の上半期(4～9月)うち、限界利益の最も小さい月の限界利益率は【 】%である。
- (7) 海星産業株式会社は第5期1年間の利益計画を策定する際、第5期の固定費は第4期から5%増加するという予測のもとで、決算仕訳を含む利益(営業利益)を5,000,000円としたい。この場合、変動費率は第4期と変わらないとして、第5期に獲得しなければならない売上高は【 】円と試算される。

<予算管理>

- (8) 小売業X社の第3期会計年度の期末商品棚卸高実績は800,000円であった。第4期の予算編成にあたり、商品仕入高を4,100,000円、期末商品棚卸高を700,000円、売上高総利益率を25%と見積もったときの売上高予算は【 】円である。
- (9) 卸売業Y社の売上総利益は、予算・実績とも、関東地域と関西地域の地域別に管理されている。翌会計年度の売上高予算は、関東地域が8,000,000円、関西地域が6,000,000円である。また、予算上の売上原価率は関東地域が50%、関西地域が40%と見積もられている。この条件で、両地域を合わせた全社売上総利益予算は【 】円である。
- (10) 製造業Z社の製造間接費予算額は5,800,000円である。この予算期間において有利な予算差異326,000円が生じた。Z社のこの予算期間の製造間接費実際額は【 】円である。

第4問 A社における7月の資料1の実績貸借対照表および実績損益計算書（14 ページ）から、資料2の実績資金繰り表および資料3の資金増減原因表（15 ページ）を作成し、下記の間1と間2に答えなさい。（20 点）

＜実績資金繰り表＞

問1 7月の資金繰り表について、次の文章中の【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。

- ・ 経常収入合計は、【 (1) 】円である。
- ・ 営業経費支払は、【 (2) 】円である。
- ・ 経常収支過不足は、【 (3) 】円過剰である。
- ・ 設備等収支過不足は、【(4) ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・ 収支過不足合計は、【 (5) 】円過剰である。

＜資金増減原因＞

問2 7月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・ 資金の増加原因を金額の大きい順に列挙すると、 , , があげられる。
- ・ 資金の減少原因を金額の大きい順に列挙すると、 , があげられる。

語 群

ア	売掛金の減少	イ	借入金の返済	ウ	買掛金の増加	エ	買掛金の減少
オ	借入金の増加	カ	設備の処分	キ	設備の購入	ク	在庫の減少
ケ	利益の発生	コ	在庫の増加	サ	売掛金の増加	シ	損失の発生

<資料1>

<A社>

7月の実績貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	4,012,620	22,992,000	22,602,800	4,401,820
売掛金	40,893,000	23,521,000	22,692,000	41,722,000
商品	1,425,300	1,607,500	1,425,300	1,607,500
備品	600,000	200,000		800,000
減価償却累計額	-50,000		30,000	-80,000
資産合計	46,880,920	48,320,500	46,750,100	48,451,320
買掛金	31,102,000	16,123,000	16,403,000	31,382,000
短期借入金	9,700,000		300,000	10,000,000
資本金	5,000,000			5,000,000
利益剰余金	1,078,920		990,400	2,069,320
負債・純資産合計	46,880,920	16,123,000	17,693,400	48,451,320

<A社>

7月の実績損益計算書

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	58,623,600		23,521,000	82,144,600
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	41,526,200	16,403,000		57,929,200
合計	41,526,200	16,403,000		57,929,200
期末商品棚卸高	1,425,300	1,425,300	1,607,500	1,607,500
売上原価	40,100,900	17,828,300	1,607,500	56,321,700
売上総利益	18,522,700		7,300,200	25,822,900
販売費一般管理費				
人件費	8,462,600	3,026,200		11,488,800
減価償却費	50,000	30,000		80,000
営業経費	8,902,780	3,226,200		12,128,980
販売費一般管理費計	17,415,380	6,282,400		23,697,780
営業利益	1,107,320		1,017,800	2,125,120
営業外費用				
支払利息	28,400	27,400		55,800
経常利益	1,078,920		990,400	2,069,320
当期純利益	1,078,920		990,400	2,069,320

(注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。

- ・売掛金の回収・買掛金の支払は、すべて預金口座への振込でおこなっている。
- ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金でおこなっている。
- ・備品は、現金で購入している。

<資料 2 >

< A社 > 7月の実績資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目		7月
経 常 収 支	現金売上	
	売掛金回収	
	営業外収入	
	経常収入合計	
	現金仕入	
	買掛金支払	
	人件費支払	
	営業経費支払	
	営業外費用	
	経常支出合計	
	経常収支過不足	
設 備 等 収 支	設備等売却収入	
	設備等購入支出	
	設備等収支過不足	
財 務 収 支	借入金借入	
	借入金返済	
	財務収支過不足	
収支過不足合計		
月初現預金残高		
月末現預金残高		

<資料 3 >

< A社 > 7月の資金増減原因表

(単位：円)

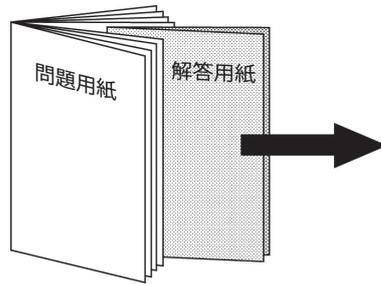
	資金増加	資金減少
損益の状況		
非資金費用		
売掛金の状況		
買掛金の状況		
在庫の状況		
設備等の状況		
借入金の状況		
合計		
資金の増減結果		

第50回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

(令和7年7月26日施行)

- この解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。
- 解答は、すべて解答用紙の指定の位置に記入してくだ
さい。



主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第50回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

会計情報の活用

--

会計処理

第2問 (50点)

南国電子販売株式会社

貸借対照表 (2025年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	
(2)	売掛金 (させば工業株分)	
(3)	仮 払 金	
(4)	買掛金 (シマバラ電子株分)	
(5)	未 払 消 費 税 等	

南国電子販売株式会社

損益計算書 (2024年4月1日
~2025年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	
(2)	旅 費 交 通 費	
(3)	通 信 費	
(4)	雑 収 入	
(5)	当 期 純 利 益	

会計処理

--

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第50回コンピュータ会計能力検定試験 標準解答

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (@ 2点 × 5 = 10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
当期製品製造原価	600,000	仕入高	仕入高	イ

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
イ	168.4	3.2	14.3	5
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
29.5	272,192,835	5,600,000	7,600,000	5,474,000

第4問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
22,692,000	3,226,200	289,200	イ	389,200
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ケ	オ	ウ	サ	キ

会計情報の活用

会 計 処 理

第2問 (@ 5点 × 10 = 50点)

南国電子販売株式会社

貸借対照表 (2025年3月31日) の科目と金額 (単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	378,157
(2)	売掛金 (させば工業株分)	17,347,000
(3)	仮 払 金	0
(4)	買掛金 (シマバラ電子株分)	9,202,000
(5)	未 払 消 費 税 等	3,547,700

南国電子販売株式会社

損益計算書 (2024年4月1日 ~ 2025年3月31日) の科目と金額 (単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 総 利 益	83,104,800
(2)	旅 費 交 通 費	1,183,400
(3)	通 信 費	1,224,600
(4)	雑 収 入	100
(5)	当 期 純 利 益	4,096,637

会計処理